会議要旨

会議の名称	令和４年度第２回おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議	
日　　時	令和５年１月２５日（水曜日）１０時００分から　１１時４５分まで	
場　　所	おいらせ町役場本庁舎　庁議室	
出 席 者 等	委　員	【出席者】（７人） 河村 信治（会長）、木村 賢一（副会長）、南 士氏、杉山 智明、中村 綱吉、志村 博、小川 雅幸 【欠席者】（３人） 藪 豊子、髙渕 華奈子、赤石 英二
	事務局	政策推進課 課長 柏崎 勝徳、課長補佐 袴田 笑美子、主任主査 馬場 祐二
傍聴者数	０ 名	

１．開会
※事務局の進行で開会。（10：00）

２．会長あいさつ	
発言者	発言内容
河村会長	大変な天候の中、またお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。第１期よりアドバイザーという立場で参加しておりますが、おいらせ町は、他の地方の自治体に比べ、条件や資源で恵まれているところが多いです。それに安心することなく、町の発展のために、おいらせ町らしい立ち位置を生かして、町の方で進めている色々な施策のサポートに、皆さんご尽力していただければと思います。よろしくお願いします。
※あいさつの後に、戦略会議に初めて出席する志村委員から自己紹介があった。	

３．案件

（１）第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略　令和３年度指標（KPI）の達成度について

発言者	発言内容
事務局	次第３の案件に入ります。進行は河村会長にお願いいたします。
河村会長	それでは、案件について、事務局から説明をお願いします。
事務局	〈案件（１）第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略　令和３年度指標（KPI）の達成度について、資料１を説明〉
河村会長	KPI の指標から、現在の町の状況が見えてきます。私の方から質問します。成果指標の新規就農者数、新規漁業就労者は、地元の人が多いのですか。
事務局	新規就農者や新規漁業就労者は、親や家族から継承している場合が多いです。そのため、登録時は町民ではありますが、その中にＵターンの方もいると伺っています。
河村会長	新規漁業就労者は、何か団体に加入していますか。
事務局	百石町漁業協同組合に加入しています。
河村会長	婚姻率の出し方はどのようになっていますか。
事務局	婚姻率は青森県の保健統計年報の数値を使用しています。算出方法は、おいらせ町の婚姻件数を町の人口で割っています。
河村会長	前からこの指標の設定に疑問があったので、今後戦略や指標を見直す際に検討してほしいです。

（２）令和４年度 総合戦略検証部会　評価・検証結果について

発言者	発言内容
事務局	〈案件（２）令和４年度 総合戦略検証部会　評価・検証結果について、資料２を説明〉
河村会長	質問はありませんか。
委員	百石高校は、おいらせ町からの支援や行事等で学生が表現する機会をいただいています。百石高校魅力アップ事業でも助成をいただいているが、すぐに結果をもとめるより、継続することで効果が出る事業もあるかと思います。なので年度ごとに評価するのは、あまり適切ではないと思います。学習塾の助成も２人の生徒しか利用していないという意見もありますが、２人のうちの１人は塾に通い、国立大学への進学を決めており、もう１人も自分が希望する大学への進学を決めています。支援していただいた効果は最大限にあったと感じています。百石高校の生徒の半分は就職希望者です。残り半分の進学希望者も大学の他に、専門学校、短大、技術専門校と多岐にわたりますので、塾に通ってまで大学進学を目指す生徒自体が少ないです。だからといって、該当者が少ないという理由で支援を辞めるのではなく、適切な評価をしてほしいです。高校によっては、全面的に進学を目指す高校（進学校）や各分野の専門性を生かして就職を目指す高校は指導がしやすいですが、百石高校のように、進学や就職も多種多様にわたる生徒たちをどう支援するかが大事だと思います。町には、その中で塾助成のほか資格試験、模擬試験なども支援していただいており、進路指導部や学年から希望をとりながら、支

	援の見直しもお願いしております。すぐに結果を求められると難しいですが、これからも継続しながら、少しずつ効果を上げていきたいです。就職も地元企業が受け入れ体制を整えてもらわないと生徒が外に出てしまうので、このまち・ひと・しごと総合戦略にもありますが、高校の出口がおいらせ町になるように、今後も町と連携していければと思います。
河村会長	数値だけではなく、当事者としての貴重な意見をありがとうございました。教育の費用対効果はなかなか見えにくいです。さらに子どもが減っているのに教育環境はひっ迫しているような状態にもあります。この地方創生の観点からも若い人が育ち、地元愛着や貢献していくために大事な部分でもあります。進学支援の他に、部活のアウトソーシングや地域との関係を深めていく必要があるのですが、学校だけだと生徒を支えることができない状況になってきています。その点で何かありませんか。
委員	町スポーツ推進審議会に参加しました。その中で、全国的に部活動の地域クラブ化が進んでおり、おいらせ町も小学校の地域クラブ化が進んでいます。部活動が地域に委託された場合、メジャーな競技は残りますが、県内でも少数の競技はなくなるのではないかという懸念はあります。また小学校、中学校でも部活動の強制化を図らなくなり、さらに新型コロナウイルスの影響で部活動が休止となったため、そもそも生徒たちが部活動をやらないことが日常化してしまっています。百石高校でも新入生の部活動加入率が５０％を切っており、他の学校と組んだ連合チームにならないと試合ができない状態となっています。その中で、百石高校の魅力化という点については、食物調理科という大きな柱があり、全国クッキングコンテストで文部科学賞（全国日本一）をとりましたが、それ以外の魅力も模索しています。地域からの支援を受けながら、これらも魅力アップを目指していきたいです。
河村会長	他に何かありませんか。
事務局	検証部会では貴重なご意見をありがとうございました。検証した２事業はどちらも政策推進課が所管する事業です。検証部会の結果等をふまえ、今後の事業の実施方針を報告します。①おいらせ町移住者採用企業支援補助金事業は、令和５年度は事業を休止し、事業の評価・再考を行います。②甲洋・下田小学校区 子育て世代定住助成金事業は、事業の最終年度である令和５年度までは実施し、その後は事業の評価・再考を行います。また過去の検証事業である百石高校魅力アップ事業についても、今中学生が減少していく中、町の唯一の高校である百石高校を失わないように可能な限り支援を継続していきたいと考えています。全体的に厳しい意見もありましたが、皆さんのご意見を参考にしていきたいと思います。
河村会長	予算的な部分はどうなっているのかを教えてください。
事務局	移住者採用企業支援補助金事業は、令和３年度は２件の申請があり、令和４年度は申請がありませんでした。甲洋・下田小学校区 子育て世代定住助成金事業は、令和３年度は計９００万円が執行され、令和４年度は７～８００万円の執行がありました。
河村会長	どちらの事業も方向性は間違いないと思いますが、内容を見直しながら、より良いものに洗練していくということですね。何か補足はありませんか。

委員	前回の検証部会で、甲洋・下田小学校区 子育て世代定住助成金をもらった方へのアンケートの結果で、助成金を目的に移住していないという理由が多いことを聞きました。町の貴重な財源なので、移住定住の結果論ではなく、今のやり方では間違っていると思います。もう一つ、総合戦略にはあまり出てきていないのですが、これから高齢者が増えてくると思います。町では、一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯などをどれだけ把握していますか。そういう視点を加えてみたらどうでしょうか。例えば、雪が多く降る地域の一人暮らし高齢者は、大雪の除雪が大変だと思います。そういった地域では、地域の人たちが協力し、持ち回りで除雪をしているのだそうです。おいらせ町はそういったことが少ないと思いますし、総合戦略に直接関係がないと思いますが、人という観点から、一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯がどんなことに困っているのかを把握する視点も、これからは必要になってくると思います。
河村会長	総合的な地域づくり、人との助け合いということで大切ですね。総合戦略を立てる際に原則として目指すところは、今地域にあるものを最大限に生かし、地域に魅力を生み出すことで、自然と外から人や企業が集まってくるというところにありました。どうすれば、若い人が戻ってくるか、企業が集まってくるかをベースに地域にあるものを大事にするという考え方をふまえて、何かご意見はありますか。
委員	全国でも、青森県内の市町村でもそれぞれ魅力をもっていると思います。前回の会議でもありましたが、これから突拍子のないものを作ったり、もってきたりするのではなく、今あるものをいかに発信するかが大事だと思います。三沢市ではリモートワークのモニターツアーを実施しましたが、最初は希望者が０でした。その後、あるインスタグラムのフォローワー数が１万人もいる方を活用し、発信したところ７～８人集まりました。ホームページのみの情報発信だと、対象者が自分で調べない限り、情報にたどりつくことができないと思います。まずは、対象者との第一接点を持つためにも、情報発信の工夫を検討しなくてはならないのではないかと思います。
委員	移住者採用企業支援補助金事業の実績は令和３年度が２件、令和４年度は０ということ知りました。職業上、企業の方々と話すことがありますが、多くの企業が人手不足にある状況です。この事業はどのように企業に周知しているか教えてほしいです。サイトを利用した町内の転職者や移住者は０だったということですが、これは企業とのマッチングの問題だと思います。結果は０人だったけど、面接して条件が合わなかったのか等、結果だけではなく、そのプロセスが検証されているのかが気になりました。
事務局	周知方法は町ホームページと町広報紙になります。またサイト運営者が町内企業を訪問して、PR もしました。その結果、２社が補助金を活用しました。採用者数は、問い合わせが２社とも１件ずつ、応募者数が１社は０、もう１社は１件でしたが、採用には至らなかったです。令和４年度は活用した企業も０、採用者数も０でした。元々は移住者支援で始めた事業でしたが、制度設計をしてみると、事業者支援として取り組んだ方が適切ではないかと考え、事業を再考することとなりました。
委員	役場の事業をフラットに評価して、見直すことはとても勇気があることだと思います。その際に KPI だけで評価することは難しいと思います。

	細かくステップを踏んで、ストーリーを作って、実施していかないと地に足がつかない状態になりますし、役場が一人でやっていくと上手くいかないこともあるので、地域の方と協力することで、違った方法が見つかると思います。役場の性質上、予算等のために単年で評価しないといけないところもありますが、そういった縛りを緩め、地域の方々と一緒に考えながら取り組んでいくことで、次につながるように思えます。
河村会長	KPI の設定の仕方をもっと戦略的、抽象的に考えてもいいのかなと思います。
委員	移住者採用企業支援補助金事業を事業者支援に方向性を変えるということでしたが、企業の方々との連携や要望の確認が、より必要になると思います。そこがないまま行政で支援すると、また利用されないままになるように思えます。人手不足の町内企業も多いので、戦略会議の事業として考えていくなら、地域の方々だけではなく、町内企業との連携も必要だと思います。町の移住ポータルサイトを見ていたのですが、ここには企業紹介はないようです。ここにもできるだけ多くの種類の町内企業を紹介するコーナーを作ってはどうでしょうか。予算化しなくてもをすぐにできるし、移住希望者にも紹介できるかと思います。
河村会長	移住者採用企業支援補助金事業を使った企業が掲載されたサイトは、求人広告よりは企業広告に近いものでした。なので、移住ポータルサイトなどを活用した情報発信の仕方も必要かと思います。
事務局	町は情報発信が苦手だと感じています。いろいろ勉強中ですが、インフルエンサー等の活用等も検討しています。ご指摘のあった移住ポータルサイトも近いうちに作り直しを考えています。その中に企業紹介等のコーナーも導入できるように検討していきたいです。KPI の婚姻率なども、戦略策定当時は何かを設定しなくてはならずにいれた指標もあるかと思います。今後は適切な KPI の設定を考えていきたいです。検証部会で報告した首都圏にある東京おいらせ会についても、新型コロナウイルスの影響や高齢化により、役員から継続が難しいという意見が出ていました。その場合、町の関係人口につながる、東京おいらせ会に代わるもの、例えば今の時代だと SNS などのようにつながる何かを検討したいです。
河村会長	他の自治体の例を見ても、つながりのネットワークは大切かと思います。幅広い年代とのネットワークを構築するなら SNS だけではなく、メールなどを活用する手段もありますし、町の様子を普段から発信するだけでも効果はあると思います。今年度はこれで会議は終わりますが、何か他にありますか。
委員	令和３年度のワークショップの結果から、おいらせ町は土地が安くて住宅が建てやすい、大きな市に囲まれているなどの強みが上げられているので、もうベットタウンに徹したらどうかと思います。例えば、企業誘致等は周りの市に任せ、おいらせ町は子育て支援、公園の整備、住宅支援などに重点的に力を入れ、ベットタウン化したら良いのではないかと思います。そうなると、近隣の市町村との連携がより必要になると思います。
河村会長	マクロにおいらせ町の立ち位置を考える大事な戦略だと思います。

（３）地方創生に関する意見交換について	
発言者	発言内容
事務局	<国のまち・ひと・しごと総合戦略がデジタル田園都市国家構想総合戦略の改訂されたことを説明>
河村会長	国の動きなので仕方がないのですが、総合戦略が大きく変わることによる情報に振り回されないように気を付けなくてはならないのかなと思います。今後はこのことを念頭に置いて、総合戦略の改訂を進めていくような流れになるかと思います。
事務局	青森県の総合戦略も改訂される予定ですので、その動向を確認しながら、町も準備を進めなくてはならないと考えております。
河村会長	今までやってきたことが大きく変わるかもしれませんので、覚悟しなくてはならないのかなと思います。他に意見はありますか。
委員	意見無し
河村会長	ありがとうございました。では案件が全て終わりましたので、事務局にお返します。

４．閉会
※閉会する。（11：45）